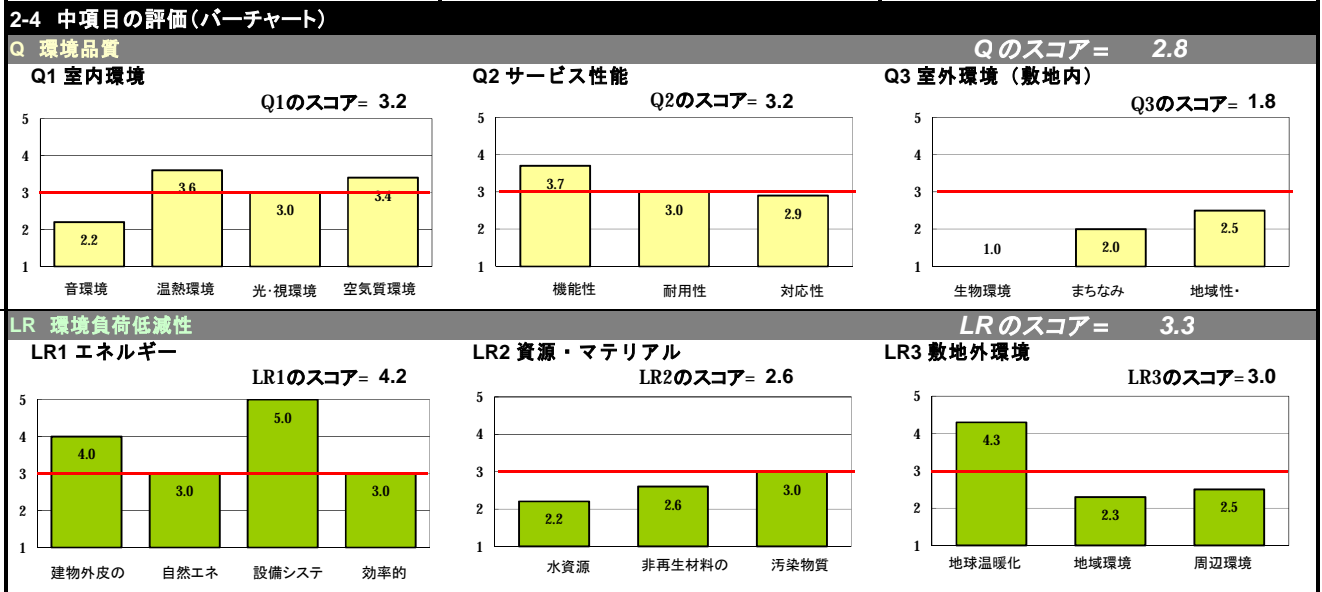
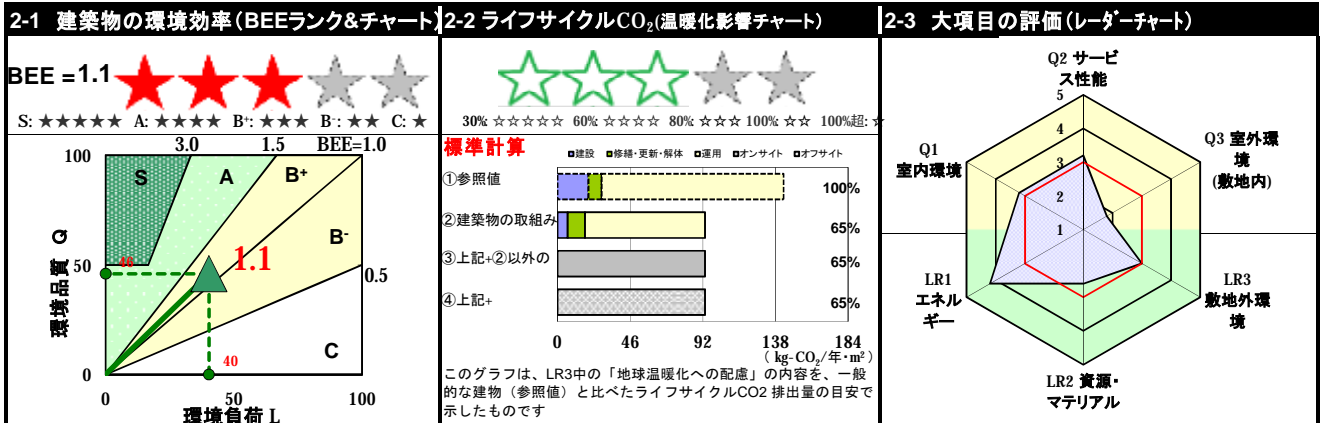


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)羽曳野市栄町マンション計画	階数	地上14F
建設地	大阪府羽曳野市栄町	構造	RC造
用途地域	近隣商業	平均居住人員	297 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年3月9日
敷地面積	2,996 m <sup>2</sup>	作成者	西方
建築面積	764 m <sup>2</sup>	確認日	2020年3月9日
延床面積	8,667 m <sup>2</sup>	確認者	西方

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-変-0005

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)羽曳野市栄町マンション計画
	建設地	大阪府羽曳野市栄町
	用途/区分	集合住宅

【評価結果】	CASBEE 総合評価		<b>B+</b>																
①	CO2削減		<b>4</b>																
②	みどり・ヒート アイランド対策		<b>2</b>																
③	建物の断熱性		<b>4</b>																
④	エネルギー削減		<b>5</b>																
⑤	自然エネルギー直接利用		<b>○</b>																
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	<table border="1"> <tr> <td>太陽光発電</td> <td>—</td> <td>風力</td> <td>—</td> <td>地熱</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用</td> <td>—</td> <td>水力</td> <td>—</td> <td>バイオマス</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </table>	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—	
太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—												
太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—												

	エネルギー消費量の報告	対象外
--	-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	<b>4.3</b>	<b>4</b>
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	<b>1.0</b>	<b>2</b>
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	<b>2.0</b>	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	<b>2.0</b>	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	<b>4.0</b>	<b>4</b>
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	<b>5.0</b>	<b>5</b>
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	<b>○</b>
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		